

レコード軽術

2019
秋
No.63

「歓喜の歌」を
第九のキーワード
識る

糸

もつと

ARTIST
OF
THE
MONTH

BAGYUDA KOUICHI

馬牛駄 光一

環境にやさしいCD素材登場



香港で「自由」の「第九」を！



天安門事件から30年、ベルリンの壁崩壊から30年。
あの年、バーンスタインは「歓喜」を「自由」に置き換えて歌った
ベートーヴェンの「第九」をベルリンで演奏しました。次は
香港です。準備委員会を発足させましょう。

日本の二制度化を憂う会

上演の不自由全集 刊行！

芸術は時に権力者には不都合なもの。本とディスクの両方から創作の裏と奥深さを学びましょう



続々刊行予定



今月のアーティスト



インタヴューの数日前に出演が決まっていたブチーニのオペラ「トスカ」が上演取りやめになり、そのあおりで「リゴレット」の重要な役を引き受けることになったのだ。さすが実力と経験豊富な馬牛駄さんである。

—— 急な出演変更でお忙しいところ、ありがとうございます。

馬牛駄 「リゴレット」は毎年のように歌ってますから、準備に不安はありません。

—— 「トスカ」のスカルピアもそうですが、馬牛駄さんの悪役はいつも太当たり、秘訣は何でしょうか？

馬牛駄 私の声域が広くてテナーもバリトンもこなせることが第一ですが、体型もあるでしょうね。細い人にも悪いことをする人はいますが、権力欲に溺れたセクハラおやじを見せつけるには身体そのものが持つ迫力が必要です（と腹をたたく）。

—— とところで、「トスカ」はなぜ上演中止になったのでしょうか？

ヴェルディの名作オペラ「リゴレット」でマントヴァ公爵を演じることになったテノールの馬牛駄光一さんにお話を伺った。

馬牛駄 噂によると私が歌うことになっていた警視
總監スカルピアの衣装が現実の警察幹部の制服に近
いからとか、女性ジャーナリスト強姦事件や池袋の元
高級役人の暴走運転事件のもみ消しに動いたと言わ
れている警察官僚のN氏に私の風采が似ているから
とか上の方の圧力があつた言われています。私、似て
ないでしょう？これは表現の自由に対する弾圧です。

——「トスカ」が作曲されたころは権力者側の妨害は
ない時代になっていましたが、「リゴレット」が作
曲されたころは上演できるように体制側に気を使い、
ユーゴーの原作にかなり手を入れた台本となりまし
た。今度の「リゴレット」は大丈夫ですか？

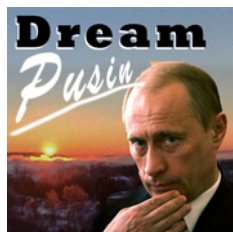
馬牛駄 それは大丈夫、むしろ歓迎されるでしょう。
なにしろ、舞台で描かれるマントヴァ公爵邸はカジ
ノ。マントヴァ公爵は金と色が渦巻く歓楽の主で
す。リゴレットはその道化。観た人は20年の東京
オリンピックには実現させたいと思うことでしょう。
宣伝になっているのです。



一般音楽愛好家が知らぬ世界での裏話が相次ぎ、
何度も溜息の出る会見だった。

指揮者の安倍三振氏、仮計音大の仮計孝太郎氏と

ウラジオストック交響楽団はこの演奏のために結成された特別編成の楽団で、名称はロシアであるがメンバーの半数は日本の永田町管弦楽団の団員である。いわば日ロ共同開催というべきこの演奏会の開催には次のような経緯がある。



■チャイコフスキー：交響曲
第一番「冬の日の幻想」

プーシン指揮ウラジオスト
ック交響楽団

まず、永田町管弦楽団の団員のレベル低下を補う必要があったこと。「戦争で領土を取り戻す」などの発言や不透明な金銭授受で少なからぬ団員が一線から退き、連携関係にある千駄ヶ谷管弦楽団も勢力縮小してきた。長く続いた常任指揮

者の安倍三振の時代の先を見据える必要が出てきたのだ。

ロシア側にも日本にすり寄りた事情があった。日中韓の關係がこれまでになくぎくしゃくしている中、付け入るには今が絶好のチャンスと思つたに違いない。両国トップの会談は何度も行われた。この種の会談では決まって両者とも成果を強調するのが儀式化しているが、日本側には何も成果なしと断言しても過言ではなからう。頭数だけ合わせて演奏団体を結成したところで盛り上がる要因は何もない。

第一楽章「冬の旅の幻想」。全体の中でこの演奏が一番いい。冒頭の主題からは会談へ向かう列車の窓から見えた風景は

このようだったろうか。日本の団員には北方領土の姿が重ねられたに違いない。良いことが起こりそうな予感を感じる出だした。第二楽章「陰気な土地、霧の土地」。ここから演奏の質が変わつて来る。アンサンブルに破綻はないが、推進力に欠ける。やる気をなくしてきたのは日口どちらの団員だろうか。

報道では演奏終了後盛大な拍手があつたと伝えられているが、録音はなくやらの拍手だった可能性大ありだ。それを聴きながら日本の団員は返還が幻想となった北方領土どころかせめてオホーツク海のサケやニシンの美味しいのを食べて帰りたいかと思つていたに違いない。

ナショナル交響楽団をグレートな交響楽団にしようとトラプルの試金石ともなる演奏会の記録である。バルトークの管弦楽のための協奏曲は通常の協奏曲はソリスト一人がオケをバックに演奏するのに対し、オケの各パートが主役となり、



■バルトーク：管弦楽のための協奏曲

トラプル指揮 ナショナル交響楽団

あるときはヴァイオリン、あるときは金管楽器と活躍舞台を変えながら進む。各パート全員に高度な技術が求められるのはもちろん、主客が絶えず入れ替わる複雑なオーケストレーションを統率する指揮者の技量が問われる。指揮者コンク

ルの課題曲と言われるほどである。

肝心の演奏評価であるが、よく言えばあふれる活力、悪く言えばカオス状態である。指揮者のトラプルによれば、団員の自発性を引き出すためにパート間の競争原理を導入したという。まず、各パートの首席奏者になれる条件は本人とその両親ともアメリカ人であること。次席奏者はヨーロッパ系、以下アジア系、ヒスパニック系、アフリカ系と続くが、要するに人種による序列分けである。第一ヴァイオリンは全員アメリカ生まれ・アメリカ育ちとなった。技倆に序列は反映されない。つまり、人種間対立をあえて作り、ねたみや対抗意識を協奏曲演奏のエネルギー源にしたいというわけだ。

演奏を少し聴けばその結果がおわかりだろう。純粹なアメリカ人だけではアンサンブルの質は保てないのだ。フィラデルフィア管弦楽団やクリーブランド管弦楽団などの伝統あるオーケストラのメンバー表を見れば分かるように特に弦楽器ではアメリカ人は半数割れ状態と言つてよい。

いまやアメリカ一国だけで文化を存続出来ないのだ。この波はやがて日本へアジアへと広がって行くことだろう。オーケストラという共同作業の場に国粹主義がそぐわないことが認知されていくだろうし、国際文化交流の一つのモデルとしてオーケストラが浮かび上がっていくのはあるまいか。

このコンサートはいつ行われたか明記されていないので広域にわたる被害をもたらした先の19号台風の被災者に向けたコンサートとはいえない。しかし昨年も含め災害は数々あったので、どの災害かにこだわらず被災された方々すべて



■復興支援チャリティ・ガラコンサート

安倍三振指揮 リバイブ・フィルハーモニー

に力になることを願っている。

演奏されるのはオーケストラ曲はもとより室内楽曲、独唱曲に至るまで多様な編成で、演奏者の出身や活動拠点も世界にまたがるそうそうたる顔ぶれだ。

まず演奏されるのはヴェルディの歌劇

「アイーダ」から凱旋の行進。サッカーでもおなじみの曲だ。合唱団の中には三村壘やヴァルサリエリ誠らの顔も見える。肌の色を越えた一体感が素晴らしい。

続いての演奏はリストのピアノ協奏曲第一番。本場のハンガリーで育った金原三勇士がソロを受け持ち華やかさをさらに盛り上げる。三曲目は石原団十郎のチェロとアリス沙羅オットのピアノによるエルガーの「愛の挨拶」などの小品。初顔合わせの日系ドイツ人同士の心温まる協演だ。

ブッチーニの歌劇「トスカ」から「私はミミ」を歌ったのは大坂ミミ。大柄な彼女なれど繊細な表現。最後はヴェルディの歌劇「ナブッコ」で歌われる希望と力

にあふれた合唱「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」で締めくくられる。

国籍や育ち、肌の色の違いを越えて支援の心が一つになったまさに一期一会の感動的なコンサートであるが、気になることがある。当初指揮者には韓国のチョン・ヨンフン氏が内定していたが、本番の二週間前になって安倍三振氏に代わった。日本との縁が薄いからと憶測されたが中国人で日本の音大に学んだチェリストの梢静氏も落とされた。結果演奏者には韓国および中国に縁のある人が皆無という世界から見たら異様なメンバー構成のコンサートになった。政治の思惑が皆の善意の場に持ち込まれて大変残念である。

特殊詐欺にご用心。
クラシックリスナー
も油断できません。

わたしは
だまされない

リマスター詐欺の手口は、レコード会社の社員を名乗る人間が来訪、「お持ちのディスクがリマスター技術により高音質になって再発売されました。格安に交換します」と話を持ちかけ、ディスクを持ち出します。ディスクは代金を振り込み後返却されますが、巧妙に新譜のようなラベルが貼り付けられただけの代物です。音が良くなると思ひ込みがちのベテランリスナーが受けやすい悪質犯罪です。



手口が大手メーカーに伝わる前に自衛しましょう。オペラ劇場でも啓蒙の動画を流しています。

JAFPO 日本詐欺防止機構

話題の進次郎、本格活動開始

デビューアルバム予約殺到



色々な問題は後回し、心の清涼剤に

打ってつけな愛の調べが満載

セクシーとは魅力的の意味と閣議決定されました

永田町管弦楽団

環境に優しい素材のディスク登場



子犬のワルツ
軽騎兵
猫の二重唱
動物の謝肉祭
など、
楽しさ可愛さいっぱい

米国から緊急輸入した飼料用トウモロコシを使用。

(お断り) 残念ながら新素材は耐久性に課題があり、数回の再生で粉末状になってしまいます。粉末は食べられます。赤坂自民亭では宴会料理として好評です。



粉末状になった CD とこの券をお持ちになると自民亭のシェフが調理したおつまみを差し上げます

オントモグループ **オントモ燃処理**株式会社

有効期限 2019.10.1

編集後記

例年秋の号は春の号に比べ軽め的话题が多くなるのですが、今回は重めになってしまいました。いろいろな動きが社会で進んでいますが、ここで無関心や諦めに安住してしまえば明日は開けません。何らかの抵抗精神を誌面から感じていただければ幸いです。

バックナンバーのハイライト、真面目なエッセイなどを
<http://record-keijutsu.music.coocan.jp>
で見ることができます。

レコード軽術 '19 年秋号（通巻第 63 号）

2019.10.18 第 1 刷発行

編集発行人 柳川誠介

〒 195-0054 町田市三輪町 539-119

TEL (044) 989-8510

s_yanagawa@jcom.home.ne.jp

印刷・製本 家内工業

